

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-05-01		
施設名	子ども家庭支援センター				
所在地	荒川五丁目12番10号				
部課名	子育て支援部子ども家庭支援センター				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和58年	145,360	国・都	20,000
	増改築①	平成18年	72,266	区債	0
	増改築②			一般財源	125,360
併設施設					
竣工年月日	昭和58年9月20日		常勤・非常勤	15人	その他
供用開始年月日	平成18年4月1日		職員数	3人	
構造	RC造		階層	地上6階	
面積	敷地面積	177.5㎡			
	延床面積	562.9㎡			
設置目的・経緯	区民が安心して子どもを生み育てることができる家庭環境及び地域社会の形成に寄与				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立子ども家庭支援センター条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	12台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	子ども及び家庭に係る総合的な相談に関する事業、子ども及び家庭の支援に係る関係機関との連絡及び調整に関する事業、子育てに係る情報の提供に関する事業、子育てに係る区民活動の支援に関する事業、児童虐待の防止に関する事業 等					
対象者	一般区民、在宅育児家庭の親子等					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分（但し地域交流室の貸出時間は午前9時～午後9時45分）				
	休日	土日祝日、年末年始（但し地域交流室は年末年始を除き貸出し）				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（見込み）
	子育て交流サロン年間利用者数（人）	11,149	12,960	11,506	13,264	13,500
	地域交流室年間利用者数（人）	9,970	10,767	4,708	4,178	4,000
	サークル室年間昼食利用者数（人）	410	886	699	756	800
	サークル室年間利用回数（回）	316	293	260	283	300
	年間開館日数（日）	356	359	357	325	359
	児童虐待等相談対応件数（件）	25,132	30,341	33,979	31,883	35,000
に指定管理に係る費用等						
備考	センターの4階・5階部分にあった地域交流室の内、平成29年4月から4階部分の貸出を停止したため、利用者数が減少している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

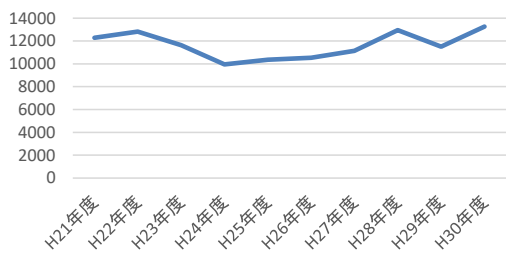
	勘定科目			勘定科目				
	H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	97,530	105,125	7,595	地方税等	0	0	0
	物件費	3,755	3,943	188	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	13,622	90	▲13,532	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	261	256	▲5
	減価償却費	3,925	3,925	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	261	256	▲5
	賞与・退職給与引当金繰入額	20,971	10,640	▲10,331	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲139,542	▲123,467	16,075
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	139,803	123,723	▲16,080	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲139,542	▲123,467	16,075
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲139,542	▲123,467	16,075	
貸借対照表	勘定科目			勘定科目				
	H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額		
	流動資産			流動負債	4,832	5,395	563	
	収入未済	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	賞与引当金	4,832	5,395	563	
	有形固定資産	101,719	97,795	▲3,924	その他の流動負債	0	0	0
	土地	89,800	89,800	0	固定負債	52,488	35,418	▲17,070
	建物	145,360	145,360	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲133,440	▲137,365	▲3,925	退職給与引当金	52,488	35,418	▲17,070
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	57,320	40,813	▲16,507	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	44,399	56,982	12,583	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	44,399	56,982	12,583	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	101,719	97,795	▲3,924	
資産の部合計	101,719	97,795	▲3,924					
備考	行政費用では、多様な相談業務を行う子ども家庭支援センターの職員人件費である給与関係費が大部分を占めている。また、固定資産（建物）の取得額と減価償却費累計額との対比では、施設の老朽化が進んでいることがわかる。							

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	89	92	94.5	
	1㎡当たりコスト(円)	-	186,918	248,362	219,796	
	人にかかるコストの割合(%)	-	91	85	93.6	
	開館1日当たりコスト(円)	-	294,723	430,163	437,184	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	4,275	8,266	6,799	
	※子育て交流サロン、地域交流室、サークル室の利用者					
備考						

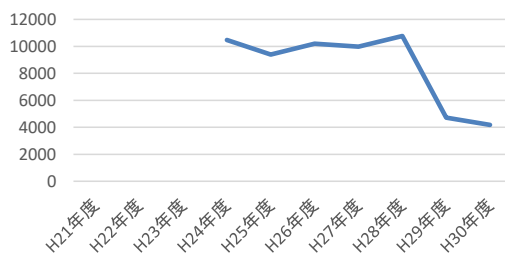
IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	子育て交流サロン等の施設利用者数(人)	実績値 21,754	23,816	16,913	18,100	18,300
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ● その他(児相移管に伴い組織・事業のあり方を再検討)					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	子ども及び家庭に係る総合的な相談に関する事業、子育てに係る区民活動の支援に関する事業及び児童虐待の防止に関する事業等の推進並びに地域交流室貸出の継続					
現状・課題	○本建物は、昭和58年に宮地区民事務所として建設され、その後、区民事務所の廃止、宮地ひろば館の開設を経て、平成18年4月以降、子ども家庭支援センターとして管理・運営されている。 ○子ども家庭支援センター相談対応機能は、区児童相談所整備後に移転・統合される予定であり、その際には、残された機能の移転・再編等が課題となる。 ○建物については、順次設備等の改修を行っているが、老朽化した空調設備、給排水設備について計画的な改修を行う必要がある。 ○また、利用者用の駐輪場が不足しているため、近隣に駐輪場を整備する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○区児童相談所への相談対応機能の移転後、残された機能のうち1階子育て交流サロンについては、継続して事業を実施していくことを検討する。 ○また、区内子育て交流サロンの統括機能や子育て支援機能については、庁舎内関係部署への移転統合を含め検討している。 ○老朽化した施設の改修及び駐輪場増設に向けた検討を実施していく。					
議会、利用者等からの意見						

子育て交流サロン年間利用者数(人)



地域交流室年間利用者数(人)



センターの4階・5階部分にあった地域交流室内、平成29年4月から4階部分の貸出を停止したため、利用者数が減少している。